



# 商店街で子育て支援事業を

3月市議会一般質問で猿渡（えんど）久子市議は、毎回取り上げていているまちづくりの問題を質問しました。

## 近鉄跡地マンション計画

駅前の近鉄デパート跡地の複合マンション建設計画に対し、「市が支援を検討する」と12月議会で答弁しています。この問題でえんど市議はまず質問。

えんど市議は「この計画はこれまでも紆余曲折あった。社会的に信用性が高い企業でない」と市が支援することに市民の理解は得られない。市勢発展に寄与

する事業でなければ補助すべきではない」と主張しました。

市の商工課長は「中心市街地活性化事業の核であり、定住人口を増やすため支援できないか」という思いはある。

しかし、事業者の資金調達・資金計画の確実性や資力・信用に十分審査すべきと思っ



翁草（おきなぐさ）

## 中心市街地活性化計画見直しを

国の認定を受けて取り組んでいる中心市街地活性化基本計画についても質問。

「全体では63%の進捗率だが、オンパクタウン構想や駅前複合マンションなどの民間事業は0.2%」と答弁。えんど市議は「民間事業は全く進んでいない。あと3年で目標の達成ができるのか。これまでも、私は温泉を活かしたまちづくりをすすめるべきと言ってきたが、基本計画の見直しが必要」と述べました。「新たな事業を検討したい」と答弁がありました。

## にぎわいのため出前保育を

さらに、えんど市議は「商店街のスペースを利用して子育て支援の『出前保育』の場として活用できないか。子育て支援センターの市役所などでの出前保育に多くの親子が参加して好評だ。市の保育士さんが商店街活性化に貢献するのは大事なことでないか」と提言しました。

商工課長は「有意義な事業になりうると思う。関係課と十分協議したい」と答弁。浜田市長は「にぎわい再生のための子育て支援の取り組みについて自分も同じ思いだ。民間事業者には厳しく実現を働きかけたい。事業計画のさらなる肉付けをしたい」と答弁しました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.428  
2010.5.14

えんど久子市議が一貫して要求

# 公正な同和行政を

別府市の今年度予算は昨年度予算に比べ、市税が9億円も減少した予算となっています。そのうち市民税は6億2000万の減。それだけ市民の所得が減ったということです。市民総所得は65億も減っているのです。市民の暮らしがますます大変になる中、税金の使い方への関心が高まっています。

## 271万もの団体補助金

3月市議会の議案質疑で、猿渡（えんど）久子市議は、毎年取りあげている同和団体への補助金問題について質問しました。

2つの同和団体に271万6000円ずつ補助金を出す予算となっています。えんど市議は、「子ども会育成会に18万、PTA連合会に36万、地婦連に13万5000円など他団

体の補助金と比べて差がありすぎる。これまでも今すぐ廃止すべきと主張してきたが、どうか。雑誌の公費購入もやめるべきと言ってきたがいくらか」と質問。



## 団体と協議すると答弁

担当課長が「H20年度以降は毎年1%カットで推移している。補助金の見直しについては、新年度に協議の申し入れを行ない8月を目途に協議

していきたい。雑誌購入費は人権教育・啓発推進の教材として必要であり、前年と同額の45冊54万円計上している」と答弁しました。

別府市議会のHPで質問の映像を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい。

## 会費収入はわずか24万円

団体補助金は前年の274万4000円より1%減らしたというのですが、全日本同和会の09年度の会費収入は24万円です。会費の10倍以上の補助金などおかしいと、えんど市議は繰り返し指摘してきました。

度まで（34年間）の2団体の補助金の合計は、3億4500万円を超える。差別をやめようと言っているところが、差別している。やめる方向でしっかり協議を」と主張しました。

えんど市議は、「昭和51年度から平成21年